

◎ 登 校

- 地区別の集団登校をする。
- 登校時間（8：05～8：15）をまもる。
- 8：05のチャイムで校舎内に入る。（早く登校してきたときは、校庭で学年ごとに並んで待つ。雨のときは放送の合図があったら校舎に入る。）
- 登校の途中で、忘れ物を取りに帰らない。
- 集団登校に遅れないように登校する。遅れた場合は、保護者の方が教室まで付き添い登校する。

◎ 校 内 生 活

- 上ばきと下ばきを区別する。上ばきを忘れたときは、下ばきを雑巾でふいてはく。その日は、外遊びをしない。上ばきに、学年・組・名前を書く（名前はつま先とかかとの2か所に書く）。
- ろうかや階段は、走らず静かに右側を歩く。（は・さ・み：走らない・騒がない・右側を歩く）
- 職員室の前は、用事があるとき以外通らない。職員室では、ノック、挨拶、学年、学級と名前を言う、用件を伝えるなどのマナーを守る。
- 事務室へ物を取りに行く時は、先生が書いたメモを持っていく。
- 教室の移動は、右側を2列に並んで、静かに歩く。
- 学校には、学習に関係のないものは持ってこない。（文房具は無地でシンプルな物を選ぶ）
- 休み時間は、チャイムがなってから教室を出る。チャイムがなるまでは、教室の中に待機する。休み時間の終わりのチャイムがなったら、すぐに遊びをやめて教室に入る。
- 雨の日（校庭が使えない日）は、静かに教室で過ごす。遊び方については学級のルールを守る。
- 朝会のときや校舎内、外で遊ぶときは、ジャンパーやコートなどを着ない。
冬の上着は、活動の妨げにならないよう、気温や体調によって調整して着用する。
- トンボ池は観察ができる。池の周りは走って遊ばない。池の中に外の物を入れない。
- 遅刻や早退の場合は、保護者の方が教室まで送り迎えをする。必ず学級担任に声をかける。
- 「おはようございます。」と言ってから礼をする。（語先後礼）
- 職員室では、ノック、挨拶、学年、学級と名前を言う、用件を伝えるなどのマナーを守る。

外遊びなどについて

- ◇ 中休みや昼休みは、天候や校庭の状態が悪くなければ、できるだけ外で遊ぶ。
- ◆ 校庭の遊びは、安全のために指示された場所で遊ぶ。
- ◆ 北校舎の周りや中庭・体育館、花壇や畑の中では、遊ばない。
- ◆ 屋上は子供だけで遊ぶことができない。学級担任と一緒にいるときは、学習で使うことができる。
- ◆ 校庭では、中休みと昼休みはボールを投げて遊べる。ける遊びはしない。
ボール優先日は、その学年の児童が使用できる。安全のため異学年でのボール遊びはしない。（人数が増えて、危険が高まるため。）

◎ 放 課 後 ・ 下 校

- 下校時刻を守る。
- 友達を待つときには、昇降口の外で待つ。
- 上小ひろばに入っている人がひろばを利用する日は、北多目的室にランドセルを持っていく。
- 上小ひろばに入っていない人は、校庭遊びをするときは一度家に帰る。
- 通学路を通り、より道をしないで帰る。違う道を通らない。
- 1人では帰らないようにする。(できるだけ近所の人と帰る。)
- 下校したら、忘れ物を取りに来ることはできない。
(鍵、薬、眼鏡など、どうしても取りに来なければならないときは保護者の方と一緒に来る。宿題や上履き、体育着などは取りに来ないように、忘れずに持ち帰る。)
- SNS 練馬区ルール、SNS 上小ルールを守る。家庭でも約束を決める。
- 学校には携帯電話やスマホなど電子機器を持ってこない。

放課後の学校の利用について

一度、家に帰ってから、校庭開放や図書館開放に来ることができる。

《校庭開放》

月・火・水・金 2:30~5:00 (木曜は2:45)

(ただし、6校時に授業が入っている場合は3:30から)

(11月から1月は 4:30まで)

《図書館開放》

月・火・水・金 2:30~5:00 (木曜は2:45)

(ただし、6校時に授業が入っている場合は3:30から)

家の人に行き先をかならず言ってから出かけましょう。

◎ そ の 他

- 欠席・遅刻・早退の連絡は、sigfy か電話での連絡をするか、兄弟姉妹が連絡帳を欠席児童の学級担任に届ける。
- 体育の見学については、連絡帳で学級担任に知らせる。
- ランドセルのポケットには、いつもビニール袋・マスクを入れておく。
- 防犯ブザーをいつもランドセルにつける。(鳴るかどうか、ときどき点検をする。
放課後、ランドセルから外して持ち歩く。)
- 登下校や校外活動では必ず校帽をかぶる。ランドセルには飾りなどつけない。
(防犯ブザー、反射板、お守りは可)
- 体育の服装(冬期)では、寒さが厳しいときは体操着の上にフードやファスナー、ボタン、金具類のついていないトレーナーを着てもよい。また、半ズボンで寒いときにはジャージ素材の長ズボンをはいてもよいこととする。